



希少動物 捜査30年

「生きものがかり」秘話 児童書に

警視庁の「生きものがかり」と呼ばれ、活躍してきたベテラン警部、福原秀一郎さん(65)が3月末に退職する。福原さんは「珍しい」などの理由で、売買が禁止されたり制限されたりしている希少動物を輸入し、密輸・密売事件の専門捜査員を約30年にわたって務めた。福原さんの捜査の話は子ども向けの本として出版されている。

警視庁 福原さん引退へ

「たかが生きもの」「刑事の仕事じゃない」と仲間から陰口をたたかれることもあったが、福原さんは「生きものは地球の財産。それを守るのも警察の大切な仕事だ」と信じてきた。一つでも多くの生きものの命を救えたのなら、警察官冥利に尽きる※と笑顔で話した。



捜査のうら話をまとめた児童書を手にする福原秀一郎さん

版されており、「自分は一線を退くが、本を通じて生きものがかりの仕事が多くの人に知られ、動植物保全への理解が深まれば」と話している。鹿児島県出身。テレビの刑事ドラマにあこがれ、1980年に警察官になった。刑事としての強みは「なんだろう」と悩んでいたころ、自宅で飼っていた魚のえさを買いに熱帯魚店に行き、そこで売買が制限されている大型淡水魚「アジアカワナ」を発見。店に張り込みを続け、店にやってきた密売業者をつかまえた。その後も絶滅寸前のカメやサル、昆虫や花など様々な生き物がからむ事件を解決してきた。

※「冥利に尽きる」は、その立場にある者としてこれ以上の幸せはないと感じること。



(「たかが生きもの」)

1 記事に出てくる「生きものがかり」とは、何をやる人のことですか。次のうちから最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 警察署で飼っている動物たちのお世話をする人のこと。
- ② 法律に違反して動物などを売買する人をつかまえる人のこと。
- ③ 珍しい動物の命を救うため、動物園や自然保護団体を支援する人のこと。
- ④ 警察が捜査した動物に関する事件について、本にまとめる人のこと。

2

福原さんは「密輸・密売事件の専門捜査員」と書いてあります。

2 「『たかが生きもの』『刑事の仕事じゃない』と仲間から陰口をたたかれることもあった」とありますがなぜでしょうか。最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 福原さんが殺人事件などの捜査をさぼって、動物の捜査ばかりをしていたから。
- ② 福原さんの仲間の中には、動物や昆虫などを嫌っている人が多かったから。
- ③ 福原さんの仲間の中には、刑事が解決すべき事件は、動物の事件ではないと感じる人がいたから。

3

3 福原さんが最後に「笑顔で話した」ことを強調している理由として、最も適切なものを選び、番号で答えましょう。

- ① 福原さんが、希少な動植物を守り、命を救うことができたことを誇りに思っていることを伝えるため。
- ② 福原さんが、けがなどをすることなく無事に定年を迎えられて、良かったと感じていることを伝えるため。
- ③ 福原さんは、自然保護団体の人たちが自分の本を出版してくれたことを、誇りに思っていることを伝えるため。
- ④ 福原さんは、自分の陰口を言っていた仲間たちを見返すことができて良かったと思っていることを伝えるため。

1

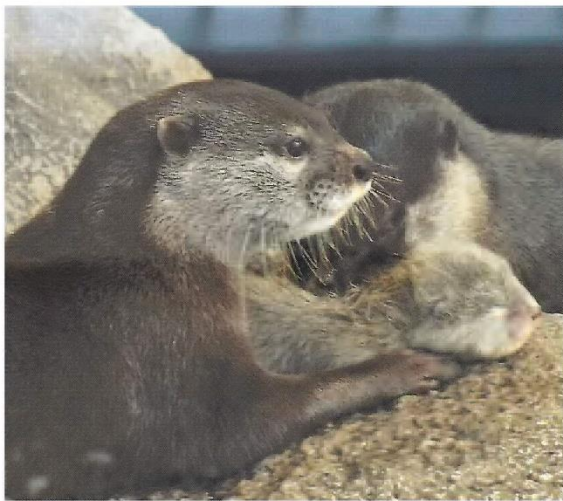
福原さんは、地球の財産である「生きもの」を守るのも警察の大切な仕事、と話しています。生きもの命を救えたことを幸せに感じて、笑顔を見せることがわかります。

福原さんの仲間は、刑事は困っていたり、傷つけられたりした「人」を助けるために捜査するのだ、という気持ちが強く、「生きもの」を守るために捜査するというイメージがなかったのかも知れません。

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

コツメカワウソ 輸入だめ



かわいらしい姿が動物園でも大人気のコツメカワウソ

ペットで人気 高く売れる

コツメカワウソ 東南アジアの森や川に生息している。人間の生活によってすみ場所がなくなったり、毛皮のために捕まえられたりして、野生の数は30年間でおよそ30%減っている。

「顔も動きもかわいいし、見ているだけでいやされる」と、動物園で人気なだけでなく、ペットとしても注目を集めるコツメカワウソ。8月27日、ワシントン条約（時事ワイド6ページ）を結ぶ国々の会議で「輸出や輸入は原則禁止」と決まりました。いったいなぜ？

世界には今、13種のカワウソがいますが、日本のペットショップで見かけるのがコツメカワウソです。野生のものは、国際自然保護連合（IUCN）で絶滅の危険性が高い種に指定されていて、これまでも生息地から許可なく輸出することは禁止されていました。ただ、生息地では1匹3

絶滅危機の生物 増えた

世界の科学者による組織は、今年、地球上で100万種もの動物や植物が絶滅の危機に直面しているという報告をまとめました。

絶滅する種は、過去1000万年の平均の数十倍から数百倍もの今までにないスピードで増えています。コツメカワウソのように

すみ場所が奪われるケースのほか、急速に進む温暖化で環境の変化についていけず、絶滅の危機にある生物もあります。便利に暮らす人間の活動が絶滅のスピードを加速させてしまっているのです。

400円ほどで売られているコツメカワウソが、日本ではおよそ300倍の100万円の値がつきます。このため、日本に密輸する業者が後を絶ちません。

（2019年9月5日 読売 KODOMO 新聞より）

絶滅のおそれがある生きものを守っていくには、どうすればよいのでしょうか。





学習指導要領との対応表

| 読むこと | | 構造と内容の把握（ア） | 精査・解釈（ウ） |
|--------|---|-------------|----------|
| 設 問 | 1 | ○ | |
| | 2 | | ○ |
| | 3 | | ○ |